



何かを見つける・  
見つかる・見つけよう!

# 福沢市民センター

指定管理者 (仙台市教育委員会指定)  
公益財団法人仙台ひと・まち交流財団



# 防災は当たり前! その時どうする?



～全5回～



災害時に慌てず行動できるよう、ひとり一人の「そなえ」の意識を高め、役立つ知識やスキルを身に付けることを目標に防災講座を実施しました。

地域に暮らすあらゆる年代の人たちが、ライフステージに見合った内容に取り組むことで、地域の防災力や防災の意識を高める良い機会となりました。今年度は高齢者の多い地域でのトイレ問題という新たな課題も明確になりました。

## 地域全般

### 「北六番丁小学校地域合同防災訓練」

日にち：6月22日(土)

会場：北六番丁小学校 体育館・校庭



名簿班活動中

- 内容：①阿部清人防災士の防災サイエンスショー  
②町内会・子供会ごとのブース見学  
※ブース

応急処置訓練、ぐらら体験、濃煙体験、水消火器  
消防車見学、電話機設置、炊き出し見学、発電機  
トイレ・テント設置、防災倉庫見学 など

市民センターは「防災訓練のしおり」作成で参加しました。災害が起こったら…どのような場合に避難所に行くのかなど掲載し、好評を得ました。



応急処置訓練

## 小学生親子

### 「災害に備えよう! その時どうする?」

日にち：8月3日(土)

会場：福沢市民センター



- 内容：①“ほのぼののあかり”作成  
空き瓶、サラダ油、ティッシュペーパー  
アルミホイルを材料にしたランプづくり  
②パッキング(焼きそば・ご飯)・じゃがりこサラダ  
③自分の持ち出し袋

講師：防災教育の市民団体 ゆりあげかもめ 佐竹 悦子氏  
対象：小学生親子



完成!

明るいね!

ほのぼののあかり作り  
ティッシュのこより作りが難しい…

実際に使える“技”を教えてもらい、自分で楽しみながら体験しました。家にあるもので対応できることを知りました。災害時に何をもち出すか悩んでいる時間が命取りになるので日ごろの備えがいかに大切かを学びました。

#### 【参加者の感想】

〈小学生〉

・すぐに逃げられるようにリュックサックに持っていかなければならないものを早めに対策しようと思います。

〈保護者〉

・実際にやってみて、大変参考になりました。  
すぐに役立つ技だったのがとても良かったです。



パッキング  
おいしくできました



防災クッキング  
包丁を使わず、手でちぎり…

具材をビニール袋に入れて、お湯の中でゆると…

スナックからポテトサラダも

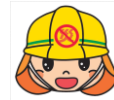
焼きそばとごはんのてき上り

## 中学生 地域住民

### 五城中学校出前講座① 講話「防災の常識をうたがってみよう」

日にち：11月19日（金）

会場：五城中学校 体育館



講話の様子

- 内容：\*持ち出し袋に必要なものは？  
\*避難所は本当に「避難先」か？  
\*中学生は援助の受容者か？

講師：仙台八木山防災連絡会 谷口和也氏（東北大学大学院准教授）他

対象：中学生1～3年生、地域住民

楽しいアクティビティを通して考え、上記の内容について学びました。五城中学校区での防災の盲点は、水・トイレ・スマホの充電など「停電」についての備えということが分かりました。また、地域における中学生の役割についてもお話があり、自分たちができることは何かを考えるきっかけになりました。

また、地域の方へもお声がけをし、町内会長などに参加していただきました。中学生自身が自分たちに何ができるか考えるのと同時に地域の方々も日頃からコミュニケーションを密にし、さらに中学生へ役割自覚を促すことも大切だと教えていただきました。



地域の方と一緒に

### 五城中学校出前講座② トイレワークショップ

日にち：1月24日（金）

会場：五城中学校 図書室・1年生教室

内容：水を使わない非常用トイレ作成

講師：仙台八木山防災連絡会 谷口和也氏（東北大学大学院准教授）他

対象：中学1年生、地域住民



事前に作り方を  
伝授して頂いて  
トイレの組み立て



2回目は1年生を対象にトイレ作成ワークショップを開催。事前に地域の方にも体験していただき、講師のアシスタントとして中学生と交流も図りました。高齢化が進む地域においては水がなくても使える携帯トイレの有用性について知り、作成した携帯トイレは中学校に災害用備蓄品としておいていただくことになりました。

地域の方にも参加していただくことで、この地域の状況に合った防災について、中学生と一緒に考える機会となりました。

#### 【中学生の感想】

- ・避難所に入れないことがあることや持ち出し袋の中身についても驚きでしたが、避難することに危険があることには「なるほど。確かに。」と感じました。
- ・防災講話を聴いて、改めて地域との交流が大切だと感じました。



講師のアシスタント



中学生もトイレ作り

## 未就園児親子 地域住民

### 北六番丁コミュニティ児童館「ひなたCafé」共催 「ママのための防災のアイデア」

日にち：1月8日（水）

会場：福沢市民センター



内容：ママのための防災のアイデア

講師：イラストレーター・防災士 アベナオミ氏

対象：未就園児親子、地域住民

小さいわが子と一緒に自宅避難を決めた講師の体験談を聞き、家族を守るためのオーダーメイドの防災について想像力を働かせて備える大切さやトイレの備えについて学びました。子どもだからと言わず、小さい子どもにも防災意識を持たせることも保護者としての役割だと感じました。地域の方も参加し、ママのために子守もしていただきました。



子どもと一緒におうち防災を学び中  
ワークシートを記入して記念撮影

#### 【参加者の「1日1防災」ワークシートより】

- ・落ちそうなものを片づける！
- ・懐中電灯の電池がつかチェックする！
- ・子ども用のレトルト弁当を買い足す！
- ・家の中で安全な場所を確認する！ など

